

高校入試理科語句問題4

1	塩酸の溶質は何か。名称を答えなさい。	
2	コイルの中の磁界が変化してコイルに電圧が生じる現象は何とよばれているか、書きなさい。	
3	『(①太陽、)②水星、③金星、④地球、⑤火星、⑥木星、⑦土星、⑧天王星、⑨海王星』のうち、隣り合う太陽または惑星の間で、小惑星が最も多く存在するところはどこか、『①と②の間』のような形で答えなさい。	
4	次の文はばねにはたらく力とばねののびに関する説明である。カッコに当てはまる語句を答えなさい。『ばねののびは、ばねを引く力の大きさに比例する。これを()の法則という。』	
5	次のカッコに入るのに適している語を書きなさい。『メダカの尾びれを顕微鏡で観察したところ、極めて細い血管の中を血液が流れている様子が確認できた。この極めて細い血管は、動脈と静脈をつないでおり、ヒトの場合と同じように()とよばれている。』	
6	地球から見ると、太陽は天球上で星座の間を動いていくように見える。この天球上の太陽の通り道を何とというか。	
7	水とエタノールの混合物を加熱してエタノールを取り出したい。この方法は物質のどのような性質の違いを利用したものか、書きなさい。	
8	塩化銅水溶液を、炭素棒を電極にして電気分解を行った。銅が付着したのは陽極、陰極のどちらか。	
9	次のカッコに入るのに適している語を書きなさい。『血液の中の液体成分は()と呼ばれ、毛細血管から組織の中にしみ出して組織液となる。』	
10	次の文のカッコに入る最も適当な語句を漢字2文字で答えなさい。『等粒状組織を作る火成岩には、花こう岩、せん緑岩、斑れい岩などがある。これらをまとめて()岩という。』	
11	『(①太陽、)②水星、③金星、④地球、⑤火星、⑥木星、⑦土星、⑧天王星、⑨海王星』の中の太陽系の惑星を地球型惑星と木星型惑星に分ける場合、地球型惑星をすべて数字で答えなさい。	
12	ヒトには刺激を受け取る器官があるが、網膜で受け取る刺激は何か、書きなさい。	
13	湖・川などの水中生物の食べる・食べられるの関係は、何種類もの生物どうしが複雑な網の目のようにつながりあっている。この関係の名称を漢字で答えなさい。	
14	分解されにくい物質が食物とともに生物に取り込まれ、高い濃度で体内に蓄積される現象を『生物()』という。	
15	ヒトが刺激を受け取ってから反応するまには、次に表される経路で信号が伝わる『刺激→A感覚器官→B感覚神経→C中枢神経→D運動神経→E運動器官→反応』。ここで、「熱いものにふれて、とっさに手を引っ込める」という反射の反応において、この経路の中の『C中枢神経』の中では信号が伝わる部分と伝わらない部分がある。信号が伝わる部分の名称を答えなさい。	
16	エネルギー保存の法則(エネルギーの保存)のうち、次の文で述べられている法則は、特に何とよばれているか、書きなさい。『物体が持つ位置エネルギーと運動エネルギーの和は、摩擦力や空気抵抗がはたらかない場合には常に一定に保たれる』	
17	水溶液が中性であるとき、pHの値はいくらか。整数で答えなさい。	
18	次の文のカッコにあてはまる最も適当なことを書きなさい。『音の伝わり方を調べる実験に関連して、振動し、音を発しているものを()といい、音さや行政無線放送のスピーカーなどがあります。』	
19	ヒトには、細かな構造があることで、物質を効率よく体内に取り込めるようになっている器官がある。ヒトの器官のうち、柔毛とよばれる小さな突起が多数あることで表面積が大きくなり、ブドウ糖やアミノ酸などを効率よく取り込めるようになっている器官は何とよばれているか、書きなさい。	
20	次の文のカッコにあてはまる風として最も適当な名称を書きなさい。『日本付近の夏と冬の風の違いについて考えてみましょう。冬には大陸と海洋のどちらも低温になりますが、より冷たくなる方の地表付近が高気圧になります。こうしてできた高気圧から気圧が低い方に向かって吹くのが()です。夏は冬とは逆向きにふきます。この風は日本の天気大きな影響を与えます。』	